

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 253 2015.12.16 連絡先 402-1622 >

「山口地区に計画されている産業廃棄物安定型最終処分場の建設に関する反対決議」 31人の賛成で可決！...12月議会

山口地区連合自治会から出された反対決議を求める請願（紹介議員30人）が採択されたことを受け、議会は「反対決議案」を決議し、賛成31で可決しました。決議文は以下のとおりです。

山口地区産業廃棄物安定型最終処分場の建設計画について

- 一、当該処分場の設置計画場所（以下「計画地」という）の南斜面からは、湧水が流れ出て七瀬川を経て紀の川に注いでおり、また、計画地を源流とする滝畑川は、住民の飲料水や農業用水など多方面に利用され、大阪府阪南市を流れる山中川、男里川へ注ぐことから、埋め立てられた産業廃棄物により貴重な水資源が汚染されるおそれがある。
- 一、計画地周辺は、和泉葛城近郊緑地保全区域に指定され、県が「山地災害危険地区（崩壊土砂流出危険地区）」に指定した標高230メートルの高所で、脆弱な地盤である地質の上に構造物を建設することは、斜面崩壊や土砂災害を誘発するおそれがある。
- 一、計画地は、中央構造線活断層（根来断層）の直下型地震の震源域に位置し、地殻変動により汚染水等が当該処分場から流出すれば、周辺住民の生活環境が脅かされ、原状回復は極めて困難となるおそれがある。

よって、本市議会は、山口地区に計画されている産業廃棄物安定型最終処分場が建設されることに反対する。

以上、決議する。

日本共産党議員団は、12月議会に提案された議案11件のうち5件について、2014年度水道決算について、2014年度決算について、それぞれ姫田議員、森下議員、中村議員が討論に立ち、反対しました。全会派連名で議員決議された「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律案の早期成立を求める意見書」は賛成しました。

みち子のひとりごと 軽減？

最近特によく耳にする言葉「軽減税率」。

消費税を10%にするときに、食料品を8%のままにしておくその範囲はどうするかということ、政府与党で合意したとかしないとか。「軽減」っていうのは、軽くすることですよ。今が8%で次も8%なら「据え置き」では？

13日付朝日新聞の「天声人語」を読んでハッとしました。フィンランドでは子どもが生まれたら「育児小包」が届き、肌着から防寒着まで入っていると。大学を出るまで学費は無料、学生の生活費まで出る、子どもは社会で育てるという考えが行き届いているそうです。高齢者にとっても、介護を受けるのに負担はないと聞いたことがあります。

日本では、大企業に減税を行っておきながら、庶民には「据え置き」を「軽減」と言い換えてごまかし、結局増税。子育ては、医療費さえ国では負担しようとしません。

「戦争する国」反対はもちろんです。私たちの日本を、どんな国にしたいのか。主権者として考え、行動を起こす時が来ています。



こんにちは
坂口多美子です

先日、吉備町に行ってきた。『吉備9条の会』のみなさんは、毎月15日に「平和の鐘」を鳴らす取り組みを続けているとのこと。伺った日は15日ではありませんでしたが、浄教寺と西光寺で鐘を突かせていただきました。あまり経験がないので緊張しながら梵鐘の前に立つと、突き方を教えてくれました。

平和への祈りを込めてひとつつき。心に響く重い音は、不思議と気持ちぐ安らぎます。ふと振り向くと、子どもたちがこちらを見ています。浄教寺の前は保育所で、いつもは12時に鐘を鳴らすとのこと。いつもと違う時間に鳴った鐘の音にお腹がすいたのではないのでしょうか。

公共施設の再整備は住民サービスの低下を招かないように 姫田高宏議員

姫田高宏議員は、公共施設の再整備などで市の姿勢をただしました。

市は、伏虎中学校跡地への市民会館の移転と医大薬学部誘致、南海和歌山市駅再整備として市民図書館移転、本町小学校跡地への子どもセンター建設、市民図書館跡地への生涯センター建設、中央卸売市場の再整備と道の駅併設など多数の公共施設の再整備を計画しています。

姫田市議は、国の補助金が出る5年間にあわせた短期間にこれら事業が集中していることを懸念するとともに、市民会館と薬学部を建設するには中学校跡地が狭いと考えられることなど各事業がかかえる問題点を指摘。再整備以外の事業が中止されたり、市民サービスが削られたり、使用料・手数料の負担が増えないよう要求しました。

小林亮介財政局長は「必要な事業を着実に実施し、市民サービスの低下や市民負担の増加がないよう努める」と答弁しました。

柱と欄干の一部が破損している「不老橋」の修復について、秋月敏尚教育局長は「できるだけ早期に修復をめざす」と答弁しました。

ごみリサイクル率向上に 情報公開と住民参加必要 森下佐知子議員

森下佐知子市議は、ごみ問題などで市の姿勢を追及しました。

日本共産党和歌山市議団は、市が2007年にごみ減量化を理由にごみ収集を有料化しようとしたとき、有料化の効果は一時的、現状分析をすすめよと要求し有料化をストップ。党市議団独自の冊子を作製し市民に配布するなどごみ問題に積極的にとりくんできました。森下市議は、2013年度の和歌山市のリサイクル率が中

核市ワースト2位なのに、市が来年4月からプラスチック分別をやめ一般ごみとして焼却しようとしていることを批判。徹底した情報公開と住民参加で議論することはさけて通れないと市の姿勢をただしました。

尾花正啓市長は「強い意志でごみ問題にとりくむ」と答えました。

旧同和对策事業として作られた12の文化会館が住民に開かれた施設になっていない問題で森下市議は周辺住民が利用できるシステムづくりを早急に進めるよう要求。尾花市長は「今後関係機関とすみやかに協議する」と答弁しました。